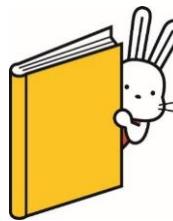


えほん

~4・5歳児のためのブックリスト~



はじめに

4・5歳の頃は「読み聞かせの黄金期」だと言われています。様々なことを吸収しやすいこの時期、良い絵本との出会いは子どもの好奇心を満たすだけでなく、将来まで続く心の栄養となってくれます。

このリストでは、長く読み継がれているものから新しいものまで、図書館員が選んだ41冊を紹介しています。
読み聞かせはもちろん、親子で本を選ぶときの参考にぜひご活用ください。

絵本についているマークについて
★…ものがたり
●…むかしばなし
◆…知識の本

福島市立図書館



「からだのなかで
ドゥンドゥン」◆
木坂涼/文 あべ弘士/絵
福音館書店(Eアベ)

人間も、犬も、猫も、とかけも、鳥も、クジラだって、生きているものはみんな、命の音を持っています。心臓に耳をあてれば聞こえてくるよ、ドゥン、ドゥン、ドゥン。自然のふしづけをわかりやすく書いた「ちいさながくのとも」シリーズの絵本です。



「かっこいいなしよううし」◆
ひさかたチャイルド(B31ガロ)

火事の現場にいち早く駆けつける消防士、私たちの安全を守るため、消防自動車の点検や、高い所のロープを渡る訓練など、色々なお仕事をしています。

かっこいい消防士たちがどんな一日をすごしているのか、詳しく見てみましょう。



「おすしのさかな」◆
ひさかたチャイルド(B59オス)

みんなの大好きなお寿司。その材料である魚は、お皿になる前はどんな姿をしていたのかな？ 広い海でスイスイ泳ぐ様子から、釣り上げられ、職人さんの手でお寿司になるまでを、写真でわかりやすく紹介。おいしいお寿司について楽しく学べる1冊です。へいおまち！



「おかしなゆきふしぎなこおり」◆
片平孝/写真・文
ボブラ社(B45カ外)

雪や氷は降り方や場所、気温によって色々な形に変身します。はげしく降る雪は、高く積もったコックさんの帽子。波しぶきが作る、氷のシャンデリア。奇妙な形に育った樹氷、アイスマンスター！ 自然の神秘を美しく切り取った写真絵本です。



「おそらにはてはあるの?」◆
佐治晴夫/文 井沢洋二/絵
玉川大学出版部(Eイサワ)

お空はどこまでも続いている？ それともどこかに終わりはあるのかな？ もしかしたら、夜空いっぱいのお星さまにヒントがあるかもしれません。素朴な宇宙の疑問に、物理学者がやさしい言葉で答えた色鮮やかな知識絵本。



「ぐるんぱのようちえん」★
西内ミナミ/文
堀内誠一/絵
福音館書店(Eホリカ)

ぐるんぱは、ひとりぼっちのきたないぞう。仲間に言われ働きに出ましたが、ビスクット屋、お皿作り、靴屋など、どの仕事をしても失敗ばかり。ところが子どもたちと遊んでみると…。ぐるんぱが自分にぴったりの居場所を見つけるまでのおはなし。



「いしんぼうのはなこさん」★
いしいももこ/文
なかだにちよこ/絵
福音館書店(Eナカタ)

こうしのはなこは、わがまま食いしん坊。山の牧場でも誰よりも大きくて強いので、いつも威張っています。ある日、お芋やかぼちゃを食べ過ぎたはなこは、体がばんばんにふくらんでしまい大騒ぎになりました。



「むしむしてんしゃ」★
内田麟太郎/文
西村繁男/絵
童心社(Eニシム)

むしむしてんしゃが発車します。ののたんののたん。ののたんののたん。乗っているのは、チョウにバタ、よわむし、なきむし？！さあ、むしむしてんしゃはどこにむかうのかな。虫好きにも電車好きにもおすすめです。



「おふろだいすき」★
松岡享子/作
林明子/絵
福音館書店(Eハヤシ)

おふろが大好きなぼくは、今日もあひるのヅカと一緒に入ります。体を洗っていると、おふろからかめが浮いてきました。続いてベンギンやオットセイ、カバたちもやってきて、たちまち遊び場に大変身！ おふろが苦手な子も楽しめる絵本です。



「つきよのかいじゅう」★
長新太/文
佼成出版社(Eチヨウ)

その湖には昔から怪獣がいるとされていた。男は10年ものあいだ怪獣を待っていた。いったいどんな姿をしているのか、男の想像は膨らんでいく。驚きのその正体とは？ 親子で楽しめるナンセンス絵本です。

《その他おすすめの本》

「じごくのそらべえ」★

田島征彦/作
童心社(Eタジマ)

「そらからっぽふ～ん」★

高畠那生/作
<もん出版(Eエカバ)

「ずっとずっとだいすきだよ」★

バス・ウルヘルム/文とぶん
評論社(Eビルム)

「いろいろんなかぞくのほん」★

メリ・ホフマン/文 ロス・アスクス/絵
少年写真新聞社(Eアスク)

「したきりすすめ」(日本)●

長谷川撰子/文 ましませつこ/絵
岩波書店(Eマジマ)

「ねずみのすもう」(日本)●

大川悦生/文 梅田俊作/絵
ボブラ社(Eウメダ)

「ふしぎなボジョビのき」(アフリカ)●

ダイアン・ホフマイヤー/再話 ピート・フローラー/絵
光村教育出版(Eロフ)

「おだんごばん」(ロシア)●

瀬田真二/訳 脇田和/画
福音館書店(Eオタタ)

「はなのあなのはなし」◆

やぎゅうげんいちろう/作
福音館書店(Eヤギュウ)

「なく虫すかん」◆

大野正男/文 松岡達英/絵
福音館書店(B48オノ)

「まほうのコップ」◆

藤田千枝/原案 河島敏生/写真
福音館書店(Eカジ)

2026年2月

編集:福島市子どもライブラリー(Tel526-4200)
発行:福島市立図書館(Tel531-6551)

【福島市立図書館】

○開館時間 月～土：午前9時30分～午後7時

日・祝日：午前9時30分～午後5時30分

○休館日 火曜日

館内整理日

【子どもライブラリー】

○開館時間 毎日：午前9時30分～午後7時

○休館日 火曜日

学習センターについては、各館にお問合せください。



「おじいちゃんのおじいちゃんの おじいちゃんのおじいちゃん」★

長谷川義史/作
BL出版(エセカ)

おじいちゃんのおじいちゃんはどんな人?
時代をさかのぼり、ぼくはおじいちゃんに
会いに行く。歴代のおじいちゃんたちは、そ
の時代の生活をぼくに見せながら、家族のつながりを教えて
くれた。言葉と風景、探し絵も楽しめる、何度も発見のある1冊。



「としょかんライオン」★

ミシェル・ストoupas/著/ケビン・ホークス/え
福本友美子/訳 岩崎書店(エオクス)

ある日、一頭のライオンが図書館に現れます。
皆びっくりしますが、館長のメリウェザーさんだけ
は別。「図書館のきまりを守れば、ライオンだって
来てよいのです」だって! 子どもたちとおはな
しを聞いたり、お手伝いをしたり、皆の人気者になったライオン。
しかし、大声をだしてはいけないきまりをやぶってしまい…。



「へっこきあねさがよめにきて」●(日本)

大川悦生/文 太田大八/絵
ポプラ社(エオオタ)

ある男のところにとついてきた嫁は、とても働き
者の良い娘。男も母親も大喜びですが、だんだん
嫁の様子がおかしくなってきました。母親がわけを
聞くと、嫁は屁(おなら)を慢しているというので
す。遠慮せずすればいいと言われ、思い切って屁をする…
ほん、ほん、ぼが~ん!! ユーモアあふれる日本の昔話です。



「わたしはほんとにうんがいい」●

せなけいこ/文 絵
鈴木出版(エセカ) (イギリス)

にこにこばあちゃんが歩いて
いると、道に古いつぼがおちて
いました。つぼの中をのぞくと、びっくり! きんかが
ぎつり入っています。ばあちゃんはおおよろこびで
つぼをもちかえろうとしますが、つぎつぎとふしきな
ことがおこって…。イギリスのゆかいなむかし話。



「しんごうきピコリ」★

ザ・キヤビンカンパニー/作・絵
あかね書房(エセカ)

バトカーくんが、しんごうきのルール
についておしえてくれますよ。ピコリ!
しんごうの色が変わります。あおは
「すすめ」。あかは「ぜったいとまれ」。じゃあ、もしピンクや
オレンジにならったる…くるまはいいたいどうなつちやうの! ?
ページをめくるたびに楽しくなる、ユニークなおはなしです。



「ロバのシルベスターとまほうの小石」★

ウイリアム・スタイル/作 せたていじ/やく
評論社(エスター)

ある日、ロバのシルベスターは赤く光るきみよ
うな小石を拾いました。なんとそれは触て願い
事を言うと叶えてくれる小石だったのです。
ところが、突然現れたライオンに驚いたシルベ
スターは、うっかり自分を岩に変えてしまいました。自分ではもの
姿に戻れなくなってしまったシルベスターの運命は?



「十二支のはじまり」●(日本)

岩崎京子/文 二俣英五郎/画
教育画劇(エフタマ)

むかし、ある年の暮、神様は動物たちに
おみれをだしました。正月の朝、御殿に
来たものから十二番まで、順番に一年ずつ、その年の大将にする
動物たちは自分こそいちばんのりだと大騒ぎです。
その後、いつ御殿に行くのかを忘れてしまったねこが、ねずみに
日々を聞きに来ましたが、ねずみはうそを教えます。



「こんや妖怪がやってくる 中国のむかしばなし」●(中国)

君島久子/文 小野かおる/絵
岩波書店(エオカ)

おそろしい妖怪がいる村に住むおばあ
さんは、妖怪から「明日はお前を食いに
くる」と言われます。おばあさんは泣いていると、たまごや
ぞうきんたちが「助けてあげる」と約束してくれて…。
中国で古くから伝わる楽しい妖怪退治のお話です。



「ふたごのもうふ」★

ヘウォン・ウン/著/せなあいこ/やく
トランスピュー(エヨハ)

うりふたつの双子のわたしたちは
仲良くなてもわけこってきたの。
でも、5歳になつて一枚の毛布に
はじめて自分で毛布をまつわくと、ひとりで寝る
ドキドキを、ほほえましく描いたおはなし。



「さんまいのおふだ」●(日本)

水沢謙一/再話 梶山俊夫/画
福音館書店(エカジヤ)

山へ花を探しに行き、道に迷ってしまった
こぞうさん。すっかり夜もふけて困っていると、
山のむこうに小さな家の灯りを見つけました。
その家に住んでいるおばばに一晩泊めても
らうことになりましたが、夜中に目を覚ますと「こぞうはうまそう
だな」という声が…。



「なしとりきょうだい」●(日本)

かんざわとこ/文 えんどうてるよ/絵
ポプラ社(エエド)

病氣のお母さんのため、山へなしをとりに行く
ことにした三兄弟。最初は長男のたううが、次に
二男のじろうがでかけましたが、二人は沼の主
に呑まれ、帰ってきませんでした。そこで末っ子
のさぶろうが行くことになりました。「いわくちやかさかさ、いぐなっちや
かさかさ」という不思議な歌に導かれて歩いていくと…。



「パンのかけらとちいさなあくま」●

内田莉沙子/再話 堀内誠一/画
福音館書店(エホリウ) (リトニア)

ちいさなあくまは貧乏なきりのパン
を盗み、おおきなあくまたちにひどく叱
られてしまいます。おわびにきこりの
願いをきいて沼を薙ぎにかえますが、
意地悪な地主に横取りされてしまいました。ちいさな
あくまは麦畠を取り戻すことができるのでしょうか?



「きつねのホイティ」★

シビル・ウェッタシング/著
まつおかきょうこ/訳 福音館書店(エカジヤ)

くいしんぼうのキツネ、ホイティは人間に
なりすまし夕食を食べ歩きます。ところが、
おかみさんたちに調子にのつた悪口の歌
を聞かれてしまってさあ大変!

おかみさんたちが考えたホイティへの仕返しとは?
愉快なスリランカの絵本。



「かさじぞう」●(日本)

瀬田貞二/再話 赤羽未吉/絵
福音館書店(エアカバ)

昔、貧乏なおじいさんとおばあさんがいました。
おじいさんは正月の餅を買うために、町へ笠を
売りに行きましたが全く売れません。がっかりして
帰る途中、雪の中に立つ地蔵さまに持つてい
た笠を全てかぶせてあげました。すると明け方、地蔵さまたちの
かけ声がして…。心優しいおじいさんに起つた、大晦日のお話。



「ランパンパン」●(インド)

マギー・ダフ/著/ホセ・アルエゴ/え
山口文生/訳 評論社(エアルエ)

「ランパンパン」と太鼓をたたいて行進する
クロドリ。王さまに連れて行かれてしまった
奥さんを奪いかえすため、戦いの準備をして
宮殿へ向かっています。途中、ネコや木の枝、川、アリが仲間になり、
クロドリの耳の中におさまって一緒に宮殿に乗りこみます。強い力を
持つ王さまに知恵で勝負する勇ましいおはなしです。



「金をつむぐこびと」

レンペルシュティルビエン●(グリム)
グリム/原作 バーナデット・ワツ/絵
ささきたづこ/訳 西村書店(エウガ)

父親がついた嘘のせいで、王さまに「わ
らを金につむげ」と命令されました娘。
困って泣いていると、突然おかしな人が現れます。娘は、自
分の持ち物と引きかえに、小人に金をつむいでもらうことには
ますが、はたしてうまくいくのでしょうか。



「こんなかお、できる?」★

ケイラム・コール/著/トニー・ウンゲラー/え
こみやゆう/やく 好学社(エウケ)

毎晚、なかなか寝ようとしない女の子
フランシス。ある晩、パパは「こんなかお、
できる?」というゲームに誘います。パパ
の出すお題に答えながら寝る支度をして
いき、自分でベッドに入って最後には…。
おやすみ前のユーモラスな顔あそび絵本です。



「なんにもせんにん」●(日本)

唯野元弘/文 石川えりこ/絵
鈴木出版(エイカ)

あるところに、働かずに毎日遊んでばかりの
若者がいました。ある日、つぼの中にいる小さな
男を見つけます。「わはは、なんにもせんで遊んでいるもんが好き
なんじや」と言うので、若者は小さな男を家につれてかえりました。
しかし、若者が遊べば遊ぶほど男の体は大きくなつてい…。
ユニークでちょっぴりふしきな昔話。



「天の火をぬすんだウサギ」●(北米)

ジョアンナ・トゥロートン/著
山口文生/訳 評論社(エウカ)

昔、火は天にだけあり、地上の動物たちは寒さ
に震えていました。そこでかしこいウサギは、天か
ら火を盗んできます。火はウサギからいろいろな
動物にリレーされて地上に運ばれました。
リスのしっぽやアライグマの体の模様が、どうして今の形になったの
かなどが描かれた、北米インディアンに伝わるおはなしです。



「いろいろはっぱ」◆

小寺 卓矢/写真・文
佐藤 孝夫/監修
アリス館(エコデ)

葉っぱをながめてみると、いろんな
色やかたちがあります。太いものや
長いもの。ぎざぎざだったりかわつたり、かじられて穴
だらけだったりするもの。赤や黄色に変化するもの。
個性豊かな葉っぱたちが登場する写真絵本です。